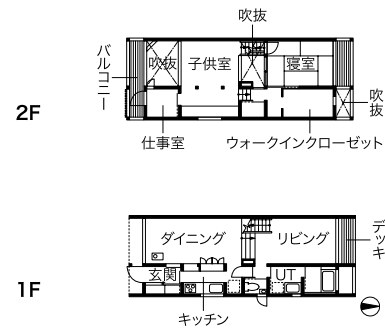


建築データ

- 設計 ■ 設計島建築事務所
 施工 ■ 分離発注方式
 構造規模 ■ 木造・2階建て
 延床面積 / 76.75㎡ (約23坪)
 主な外部仕上げ ■ 屋根 / ガルバリウム鋼板、外壁 / ガルバリウム鋼板横葺、建具 / 玄関ドア : 造作木製ドア、窓 : 木製断熱サッシ・樹脂断熱サッシ
 主な内部仕上げ ■ 床 / スギ足場板・天然スレート・スギフローリング、壁 / 構造用モイス張放し仕上、天井 / 構造用針葉樹合板現し
 断熱仕様 ■ (充填断熱+付加断熱) 基礎 / 防蟻ポリスチレンフォーム3種B50mm (外側) + ポリスチレンフォーム3種B25mm (内側)、基礎下 / 防蟻ポリスチレンフォーム3種B50mm、壁 / セルロースファイバー100mm (充填) + セルロースファイバー40mm (付加)、天井 / セルロースファイバー300mm
 暖房方式 ■ 薪ストーブ・床下エアコン (補助)
 概算工事費 ■ 2,000万円 (税込)

平面図



1. 南側の大開口からの冬期の日射を集めて蓄熱するためにダイニングの床にスレートを、吹抜けの壁に七北田川の土を3年寝かせた土壁を採用。土壁は風合いを活かすようあえて荒壁のままにした
2. 南北に長い立地を活かしたスキップフロアが開放的につながり、トンネル状に風が通る
3. 側面はガルバリウム鋼板の横葺きとし、ファサードにはウエスタンレッドシダーを使用。袖壁はもと左官職人の義父と一緒に塗装。コスト削減も考え、一部の出来る作業は自ら関わった
4. 吹抜けの手摺り壁の内側は子どもが絵を描ける黒板仕様に
5. 畳は宮城県産の藁を使った厚み6cmの藁床。踏み心地がソフトで香りが清々しい
6. 柱を見せた真壁で室内側から耐力面材を貼った構造=仕上げのシンプルな家。壁にモイス、床に自然塗料を使用

私たちの取り組み



「素の家」をコンセプトに、自然素材や伝統工法、職人技を大切に、現代の暮らしに合ったエコ住宅を提案します。古い建物の調査やリノベーションなど、伝統の技を見直す活動にも取り組んでいます。木の家を知り愛着をもって住んでいただくために、床のワックスがけなどは施工と一緒に進めたいこともあります。



設計島建築事務所
 主宰
 三浦 正博

問い合わせ先
 設計島建築事務所
 仙台市青葉区八幡5丁目6-13
 TEL.022-233-6020
<http://www.d1.dion.ne.jp/~kmiu/>

限取り込めるよう、南北の間口いっぱいを開口部にし、夏は風が吹き抜ける設計にしました。ほかに、蓄熱壁などパッシブな工夫をいくつかり入れていきます。断熱性はQ値 \parallel 1.53W/m²K、C値 \parallel 0.68cm/m²です。夏場は夜間の外気を入れることで、室温20℃位で安定しており、暑い日もエアコンをつけずに過ごしています。

肌触りがいい、時とともに味わいや愛着が深まる自然素材の良さは、頑丈な構造や機能性などがあつてこそ生かされます。高断熱・低燃費で、夏涼しく冬暖かい快適さが保てる自然素材のエコ住宅を提案します。



- 土に還る素材を多用した「素」の家
- 地形と環境を活かすスキップフロア
- 自然エネルギーを活用したエコ住宅

設計事務所編 | 03

設計島建築事務所

「素材」がもつ質感を大切に、「素」のままに気持ち良く暮らせるシンプルな家をつくりたい。そんな思いを形にしたのが写真の自宅です。宮城県産材の補助金を使って建てたこの家は、県産材をはじめ県産の畳床、地元土を使った土壁など、出来る限り自然素材を使い、石膏ボードは一枚も使っていません。木は大工が手刻みをするなど、伝統の技や手仕事を大事にし、信頼する地元の職人に施工を分離発注方式で依頼しています。

プランは、河岸段丘の地形に沿ったスキップフロアが特徴です。間口が狭いため、冬の日射を最大